



駒澤大学 2-0 東京武蔵野シティ FC

走力、フィジカルで圧倒！ 社会人相手に見事な勝利

4月22日 13:30 味の素フィールド西が丘

駒大 2 (2-0) 0 武蔵野
(0-0)

得点者 (アシスト)

【前半】

33分: [駒] 鈴木
39分: [駒] 高橋

【後半】

KOMAZAWA	MUSASHINO
GK 21 松村 優太郎(4)	GK 1 臼杵 裕太
DF 19 猪俣 主真(1)	DF 2 大倉 康輝
(→59分 5 鈴掛 涼(4))	DF 24 古澤 慶太
DF 3 星 キョーファン(3)	DF 7 岩田 啓佑
DF 2 須藤 皓生(4)	DF 19 鈴木 裕也
DF 28 真下 瑞都(2)	(→79分 廣瀬 智行)
MF 6 大場 淳矢(4)	MF 22 金井 洵樹
MF 13 鈴木 隆作(4)	MF 28 池田 直樹
(→88分 17 福地 拓也(4))	MF 29 伊藤 裕也
MF 14 坂本 和雅(4)	(→46分 18 石原 幸治)
(→69分 18 矢崎 一輝(2))	MF 30 南 慶汰
MF 10 中原 輝 (4)	FW 9 水谷 侑暉
FW 11 室町 仁紀(4)	FW 27 角田 陸哉
FW 9 高橋 潤哉(3)	(→69分 14 本田 圭佑)
S U B	S U B
GK 1 角井 栄太郎(4)	GK 31 島崎 恭平
DF 4 伊勢 涉(4)	DF 3 小田倉 康太
MF 12 高田 和弥(4)	DF 20 木下 諒
MF 24 宮崎 鴻(1)	FW 17 内山 俊彦
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	井上 寿之

警告 (C) / 退場 (S)

89分: [駒] 星

ファーサイドに隆作

天皇杯予選も佳境を迎えた。社会人代表も混ざる東京都トーナメント準決勝。駒大はJFLで上位の東京武蔵野シティと対戦。メンバーにはリーグ戦でここまで出場機会が少なかった松村、鈴木、坂本、そして1年生の猪俣を起用して臨んだ。

4月にしては猛暑となったこの日の一戦は序盤から相手が素早い攻撃を展開してくるが、関東トップレベルの駒大守備陣が決定機を作らせない。すると、徐々に身体能力で分がある獅子たちが武蔵野ゴールに襲いかかる。室町、高橋のフィジカルはもはや相手には止められず。さらにサイドからスピードとテクニックに長ける中原、坂本が最終ラインをかき回す。迎えた33分、左からのCKから試合は動く。キッカーの中原はファーサイドヘクロスを供給。ここに走り込んだ鈴木がドンピシャのタイミングでヘディングシュートを叩き込む。これが枠に突き刺さって先制点を奪う。

試合後秋田監督は「あんなところに隆作がいるのかは疑問だけど、そこにいたっていいこと」と驚きつつも喜びを見せた。

さらにその僅か6分後にロングボールが前線に入ると、相手DFとの競り合いを制した高橋がGKとの1対1に。これを落ち着いて決めて大きな2点目を奪取。試合は2点リードで折り返すが、この優位が後半の試合の流れを左右した。

後半に入ると、前がかりになった相手に主導権を握られてしまう。ここでたまたま猪俣に代わって鈴掛を投入。守備の立て直しを図るが、依然として主導権は武蔵野。なんとか耐える時間が続く。後半唯一のチャンスはPKから。中原が獲得すると、キッカーは大場に。しかし、枠を大きく外してしまう。

後手を踏む場面はあったものの、社会人相手に身体能力で上回った駒大に軍配が上がった。東京制覇、天皇杯出場まであとひとつだ。(宮下 響)